

# 身障だより 響(ひびき)

★災害・防災の心構えについて  
～市防災担当者による講話～

去る六月三十日(金)登別市総合福祉センター「階多目的ホールにて『災害・防災の心構えについて』の研修を開催しました。この事業は北海道身体障害者福祉協会の助成金(生活訓練事業)をいただいで実施しました。

市防災担当者の宮林主幹様はじめ、四名の職員の皆様にお越しいただき、貴重なお話を聞くことができました。登別市では過去にも雪害による大規模停電や、大雨による幌別川の氾濫、地震による大津波被害など、大きな災害が多く発生しておりますので、皆さんの表情も真剣でした。

今後予想される大津波情報では、会場になっている総合福祉センターも二メートル以上水に浸かることや、幌別町は全て浸水するとの予想に、皆さん驚きの表情を隠せませんでした。実際に使われるテントや、トイレなども設置され、皆さんにも体験してもらいました。

皆さんには登別市から『登別市の防災マップ』や、備蓄品のパンや炊き込みご飯なども配布されました。協会からは、『緊急持ち出し袋(9点

セット』が支給され、薬などの不足の品については、各自、袋の中に入れておくよう、助言をいただきました。災害が起きてからでは遅いので日頃から心構えと準備の大切なことを、改めて、学びました。連日のように発生している地震、集中豪雨に対して、『自分の命は自分で守る』ことの必要性を、再確認した一日となりました。



研修風景

編集発行

登別身体障害者福祉協会  
登別市片倉町六丁目九の一 登別市総合福祉センター内  
電話番号 090・8632・8099  
発行責任者 今 順子



緊急持ち出しセット



テントの中



ベッド

さくらんぼ狩り

七月十五日(土)雨天決行で壮瞥町の矢野果樹園へ『さくらんぼ狩り』に行ってきました。参加者は十八名乗用車四台に分乗し、十一時過ぎに



サクランボ狩りを終えて

無事に到着。矢野果樹園さんのご厚意により、車をピニールハウスのそばまで入れていただきました。鈴なりのサクランボはピニールハウスの中でしたので、誰も雨に濡れることなく、甘いサクランボを堪能しました。収穫したサクランボはお持ち帰り。一番多い人はカゴ山盛りで、一万円弱と金額もすこかったです。例年果樹園へ行っていました、サクランボのなりが悪く、お断りされましたので、今年はいつも私が見たい矢野果樹園さんへ行きましたが、車いす用トイレも一般用トイレもきれいで、気持ちよく、用足しができました。矢野さんのご主人のご配慮と優しさに感謝です。

☆ 打ってはホームラン、投げては三振は「アナゴ」のガ

すでにアメリカ、国内のプロ野球も後半戦を迎えている。

春先には世界トップの座に座り、日本の野球もすごいものだと思った。

私は草野球程度しか知らない。しかし、あの野球を見てから、すっかりトリコになってしまった。それは野球そのものもあるが、『大谷』という個人の選手である。すでに昨年は、野球発祥の地アメリカのトップスターであったヘーブルースのホームラン数、投手としての勝数を上回ったことである。そして投げて打つ「二刀流」も超えた、運動神経が抜群であるということである。

世界トップの座に在るわけであるから、租の懐に入ってくる「お金」が一番気になる。

気取った文章を書き続けてきた。この会報だけでも約十五年になる。しかし大谷の「すごい」を書く前に、「お金」のことを考えてしまおう。「凡人」である。

所属チームからもう年収は、日本円だと四十億円である。これに「広告的」なものがある。ユニホームや身につける品物、そしてスポーツ用品はもとより、化粧品まである。

現在で十七社、そのスポンサー料金の合計九十五億円。年金暮らしの私にとつては、見当がつかない。さらに契約金も加わる。これはその時点ですべて

貰っている。

使いだもすごい。先の世界大会の際、アメリカから名古屋に来るのに、アメリカから東京のシット機代が二千万円。東京から名古屋への飛行機代と、どこかの大臣のような使いぶりである。

これらのお金はどう「管理」されているのだろうか。弁護士も兼ねたアメリカ人が、管理していると思われる。人のお金の事を考えても一円にもならないが、これから先もどんどん入ってくると思うと、うらやましいと思う反面何らかの「事故」に会わなければ良いがと思う。相手側から見ると、「余計な考えです」ということでしょうか。…「ところでこの子を産んで育てた両親ですと名を挙げないですね。兄弟はいるのでしょうか。近い親族もいるはずだが、全くわからない。」

これだけの「大金持ち」になつてしまつと、「一軒家」というわけにはいかないだろう。逆に、大都会の高級マンションか、すでにアメリカに住んでいるかもしれないでしょう。

話が飛んでしまつが、日本の日ハムに入つた時は、体もできておらず、練習の終わった後には、コーチの人に「焼肉」を食へに連れて行つてくださったとよく連れ出されたという。その「食いつかり」に驚かされたようだ。「基礎体力は、日ハム時代に造られたのでしよう。」

そして、投げる・打つセンスを栗山監督が見つけ、「二刀流」をやらせるようになったのでしよう。



笑顔も素敵は大谷選手

またまた話は飛びますが、「戦う力」は「食」にありを自分なりに見つけ、現在では、試合のある日は、食べる時間も異なつていくという。さぞかし「ステーキ」の分厚いものを食べていると思つていたが、日本食の「すし店」のものを食べているという。それは「海鮮丼」である。一度テレビで見せてもらったが、各種刺身類はもちろん、ツブ類、イクラなどの卵、そしてウナギのかば焼きと思つたが、実はウナギが「原動力」でなく、「アナゴ」のかば焼きだった。ウナギより身がしまつており、いかにも体力の「原動力」になるように感じた。しかも「二刀流」のゲームの時は、試合開始三時間前に食べる。肉は一切なしには驚いた。それなりに研究・実施しているのであらう。

そして世界一の男の結婚である。アメリカ住まいが長くなるからアメリカ人かなあ。できれば、日本の女性と結婚して欲しい。日本人のだけれど、幸せを願っています。

☆『防災手帳づくり』のお手伝い

七月十一日(火) 団体活動室にて、早稲田大学の古山教授と学生さん二名の出席の元、『防災手帳づくり』のアンケート調査があり、当協会が協力しました。参加者は七名。

私たち障害を抱えている人たちのアンケートをAIに入力し、どのような回答をもらうことができるのか、研究をしているそうなので、私たちもその一役を担うことができました。

自分たちの状況をシールで貼つていき、それを解決するにはどうしたら良いかを、またシールを貼って作成して行くもので、子供の頃のシール貼りを思い出しながら、皆さん楽しんでやっています。

視力障害者の方には学生さんが付き切りでやりかたを指導してくれましたし、ちよつとまごついている人にも学生さんや教授が優しく指導してくれましたので、スムーズに終わることができました。協力してくださった皆様、お疲れさまでした。

楽しみながら終了しました



『東北・北海道ブロック身体障害者連合会』札幌市にて開催

東北六県(秋田・青森・岩手・福島・宮城・山形)と各県の政令都市と、北海道と政令都市の札幌市で結成されている『東北・北海道ブロック身体障害者団体連合会』が札幌市のホテル・ポールスター札幌で開催されました。各県の会長、副会長、事務局長が全員揃って出席。

日身連の阿部会長にも初めてお会いしました。阿部会長は宮城県仙台市の身体障害者福祉協会の会長を兼務しています。

いつも新聞等でしか見たことがなかったのですが、写真よりは若く見えました。「一緒に写真を撮りたいのかな?」と快く引き受けてくださり、写すことができました。各県から提出された議案事項の審議も活発に行われました。

審議が終了した後は、各テーブルに分かれて交流会が開催されました。

私のテーブルには、日身連の小林様と、岩手県、秋田県、青森県の各会長様、それと私と伊達市の会長様が同席しました。

秋田県の会長からは『日本一』になったというお酒がふるまわれ皆さんでお相伴させていただきました。



日身連・阿部会長と

とても美味しかったです。どのテーブルも活発に話が進み賑やかでした。来年は岩手県で開催される予定です。全国大会の方は、福島県の予定でしたが、福島県からは難色を示され、まだ確定していません。大津波の災害からまた復興が追いついていないらしく、とても困っていたのが、印象に残っています。

私は初めて参加しましたが、他県とのコミュニケーションが取れるとても良い経験をさせていただけだと感謝しています。

北海道も東北の方も、同じような問題にぶつかっていることが多く、ありました。特に会員の減少は深刻な問題でした。

今後もこのような機会が多く開催されることを願っています。

☆ 今後の障団連の活動予定

\*八月三十日(水)・・連合町内会との懇談会↓連合町内会との懇談会と、あいさつポーター研修会があります。鶯別コミュニティセンター、新生虹の家、福寿園、市民会館、スプリングの五つの会場にて予定しています。ご都合のつく方は是非、出席していただきたいと思えます。

\*九月二十八日(木)・・登別市民生児童委員会研修会↓障害者への配慮や接し方などについての研修があります。私たちに直接かわりのある、民生委員さんとの研修会です。

\*九月九日(土)・・市民一斉防災訓練↓市内一斉の防災訓練を予定しています。協力できる方は極力参加してください。

\*十一月八日(水)・・施設見学として、白老町の国立アイヌ民族博物館を予定しています。障害者と介助者一名は無料です。詳細は後日連絡いたしますので、是非、参加してください。市バスを使用しますので、乗車人数が不足にならないよう、よろしく願っています。



☆ 市民スポーツ・健康 フェスティバルの開催

十月一日(日) 登別市民プール『らくあ』にて、今年度の市民スポーツ・健康フェスティバルが開催されます。

私たちがいつも行っている『ポッチャ』と『ゲーリング』の体験を行います。

例年参加者が少なく、市民の皆さんの関心があまり感じられませんが、実際にやってみると『優しい』ようで、けっこう難しいですね』と言われます。

是非皆さんにもプールに立ち寄って、楽しんでいただきたいと思います。障害のあるなしにかかわらず、誰でも楽しめるスポーツです。



『ポッチャ』と『ゲーリング』

☆ 簡単クッキング

この暑い時期に、冷たいそうめんは  
いかがでしょうか。

我が家の夏バージョンそうめん  
をご紹介します。

そうめんを茹でて、ちよつとだけ食  
欲をそそるように、飾りつけ(?)  
をするだけで、見た目が変わります。  
茹でたそうめんの上に、錦糸卵、キ  
ュウリの千切り、トマトの小口切り  
みかん缶、薬味にシヨウガのすり下  
ろしたもの、長ネギの刻んだもの、  
大葉の刻んだものなどをのせて、出  
来上がりなんです。

色とりどりの具材がそうめんを豪  
華にしてくれ、食欲も増しますよ。  
是非、皆さんも作ってみてください  
ね。

盛り付けに、本当にちよつとだけ  
手を加えるだけです、見た目にと  
ても豪華になり、この暑い夏にはび  
つたりのそうめんですよ！  
たれは、水の入っためんつゆ・・  
かな？



☆ 『夏』・『海』の「と」わざ・慣用句

\*夏の虫、水を笑つ↓夏季のみ生きる  
夏の虫は、冬にできる水の存在を知ら  
ず、笑って信しようとしないうちから  
狭い世界しか知らず、無知である様子。  
見識の狭いものが、横柄で、侮るよう  
な傲慢な態度を取ることをたとえ。

\*夏虫疑氷(かちゆうぎひよう) ↓同  
じように、見聞が狭いことを例える四  
字熟語。

\*飛んで火にいる夏の虫 ↓飛んでいる  
夏の虫が、ろうそくなどの明かりにつ  
られて、火に近付いて焼け死んでしま  
うこと。自ら進んで棄権に飛び込む場  
合と、危険であると気づかず近づい  
てしまう場合と、どちらにも使われる。

\*滄海の二粟(そうかいのいちぢく) ↓  
『滄海』は青い大海 『一粟』は一粒の  
粟のこと。大海に浮かぶ一粒の粟のよ  
うに、広大なものの中のきわめて小さ  
いものたとえ。

\*貝殻で海を量る ↓貝殻で海の水をす  
く、海の水を量ろうとすることから  
狭い見聞や浅はかな知識で大きな問題  
を議論することのたとえ。

\*沖を越える 技芸などが、優れた境  
地に達すること。海辺の『辺』を「下  
手」と読むことから、『下手(へた)』  
にかけ、海辺の反対語『置き』を「上  
手(上手)」の意味にとらえた言葉。



【短歌】

\*今田 ヒナ子

・生きている証が罪か疲れ果て  
いねればまたも陽は昇りくる  
・若きらの誘いに乗りて年忘れ  
写りて額の白きに気すき

【川柳】

\*今 順子

・ババ抜きつて  
耳にする度 不愉快だ  
・つまみ食い  
後悔あと先 腹の中  
・メガネかけ  
見なきやよかった 顔のしわ

【数独】

今月号もお楽しみの数独問題です。  
挑戦してくださいね！  
前月号の当選者は泉田秀一さんです。  
おめでとございませう！

数独第115号問題

	1		3	9			6
7			4				8
5	2				7		
4					9	2	
	3					7	
	8	9					4
		8				6	2
6				3			9
9			5	8			3

《編集後記》

北海道にも例年になく、暑い日が続  
いています。皆さんの体調は大丈夫で  
しょうか。

本州では線状降水帯による大雨で、  
甚大な被害が出ています。

最近では登別市でも大雨によるかけ  
崩れがあり、人が住めなくなる災害も  
ありました。これはエルニーニョ現象  
の影響と、気象庁の説明がありました  
が、地球の温暖化も影響しているのだ  
と思います。

七月で気温が三十度を超すことなど、  
以前には考えられませんでした。

私は寒さに弱く、夏の暑さには強い  
人です。夏でも扇風機もクーラーも使  
ったことはありません。我が家の裏に  
は小さな川があります。その小さな川  
が窓を開けると、とても涼しい風を送  
り込むのです。自然のクーラーとい  
う感じがします。

これも温暖化防止にちよつとでも役  
になつていのかと思つています。  
世界中の人が、皆、力を合わせて、  
温暖化を防ぎ、私たちの住む地球を守  
つていかなければ・・・と思うこの頃で  
す。

(今 順子)

